

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
児童学特論		岸 美桜	講義	2	前期
必修・選択	修了要件	選択			
	資格要件				
学習目標	<p>「児童学」が扱う領域は、教育、発達、福祉、社会、文化など多岐にわたっている。本講義では、現代の子どもを取り巻く生活環境を特に文化的側面から分析し、子ども理解を深める。また、先行研究の分析等を通じて、各々の〈子ども観〉を確立することを目標とする。</p>				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	児童学とは何か（1）	児童学研究の方法			
2	児童学とは何か（2）	児童学研究の現在			
3	映像文化（1）	テレビ・ビデオ（DVD）視聴の現状			
4	映像文化（2）	テレビ・ビデオ（DVD）視聴が子どもに与える影響			
5	キャラクター（1）	キャラクター像の変遷			
6	キャラクター（2）	キャラクター人気の現状と課題			
7	アニメーション（1）	アニメーションの歴史			
8	アニメーション（2）	アニメ視聴の現状と課題			
9	ゲーム（1）	コンピュータゲーム利用の現状			
10	ゲーム（2）	ゲームが子どもに与える影響			
11	子どもと食事（1）	子どもの食文化の変遷			
12	子どもと食事（2）	子どもの食の現状と課題			
13	子ども観（1）	生育儀礼、「7歳まではカミのうち」			
14	子ども観（2）	子ども観の変遷			
15	現代の子ども	現代の子どもを取り巻く生活環境と展望			
参 考 書	<p>皆川美穂子「児童文化 子どものしあわせを考える学びの森」ななみ書房、2007 中坪史典「児童文化がひらく豊かな保育実践」保育出版社、2009</p>				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	<p>現代を生きる子どもの姿への理解を深めるために、新聞や報道等で扱われる子どもの問題について、普段から関心をもって考える姿勢を期待する。</p>				
評価の方法と時期	<p>評価方法：筆記試験（70%）、提出物（20%）、授業態度・出席数（10%） 評価時期：終了時に総括的に評価</p>				